

# 大盛況！ふくろうふれ愛まつり



▲入所者さんたちの劇、「大きなかぶ」の一場面。みんなで力を合わせて大きなかぶが抜けました！



▲今年も柳市長は手話でスピーチ。

今年で4回目を迎える「ふくろうふれ愛まつり」に始めての参加で、実行委員という大役をさせてもらうことになり、プレッシャーでいっぱいでした。  
まず、何を準備すればいいのか段取りも分かりませんでした。先輩の皆さんと一緒に資料を作り、会議を進めました。  
会を重ねるにつれ緊張感も高まってきました。

## 好天にも恵まれ、来客数は1,000人以上！

まつり当日にも、ボランティアの方が多く来てくださり、入所者のみなさんと一緒に舞台やお店などをまわっていただきました。  
ボランティアは高校生の方が多く、入所者のみなさんは交流を喜ばれている姿がとても印象的でした。  
今年は1,000人も皆さんに来ていただいて大変盛り上がりを感じています。(介護・山西)



▲淡路三原高校の勇壮な太鼓で開幕。

# ふくろう新聞

<発行>  
特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会  
洲本市中川原町  
中川原28番地1  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551

地域の皆様・ボランティアさんのご協力のおかげで、今年のふくろうふれ愛まつりも無事に終わることができました。ありがとうございました。  
ふくろうの郷ではクリスマス会や餅つき・注連縄作りと年末の行事も盛りだくさんです。



▲締めはみんなで阿波踊り。



▲中川原保育所の可愛らしい舞台発表。



▲親子でまつりを楽しみました。

### ふくろうふれ愛まつり 《模擬店を見て》



▲ 地元中川原町でとれた野菜

4回目ということもあり、準備・対応がスムーズになつて来たと思います。

今年の模擬店は、粉ものが多いのでカレーを減らしたのですがすぐに完売してしまいました。「後で食べたかったのに…」と来られるお客様もいて寂しい思いをさせてしまいました。次回はもっと食べ物数を増やしたいと思えますので来年をお楽しみに。

どこの模擬店も完売できたようで、ほっとしました。

みなさん、来年も是非、ふくろうふれ愛まつりに来て下さい。

(調理：岩林)



▲文化展にはお茶席も。



個性あふれる作品の数々



▼まつりの様子を生中継



地域の方からいただいた巨大かぼちゃ

▲ふくろう喫茶は大盛況

### 互助会旅行 in 小豆島



▲寒露溪瀬戸内海展望台にて

11月1日(日)、今年 は香川県小豆島へ職員 11名・家族4名で行って きました。当日は小雨交 じりのあいにくの天候で 残念でした。

しかし、紅葉には一足 早いためか混雑するはず の寒霞溪(日本三大溪 谷の一つ)のロープウェイ にすぐ乗ることができ雄 大な景色を楽しみまし た。

島では地元のろうあ 者の方と手話サークル 二一四の瞳」の方の心 温まる歓迎も受け交流 することが出来ました。

■藤本 紀代さん



昭和15年 (69)  
11月8日

■坂口 きぬゑさん



昭和6年 (95)  
11月9日

■内田 朝哉さん



昭和6年 (78)  
11月12日

■日外 きくさん



大正8年 (90)  
11月13日

■先山 君子さん



大正元年 (97)  
11月19日

■堀越 フミ子さん



昭和9年 (75)  
11月21日

■岩瀬 幾次郎さん



昭和3年 (81)  
11月21日

■谷 信義さん



昭和7年 (77)  
11月29日

淡路島と目と鼻の先に ある小豆島、「布団だんじり」の文化も同じであり、ぜひまた訪れたい島です。  
(医務：八木正子)



# 「小松博を想う」出版記念パーティー

「淡路ふくろうの郷」の生みの親の一人、小松博さんが2007年4月に亡くなられてから、早くも2年半がたちました。

亡くなられた直後から「小松博さんの追悼集」を作ろうという声がありました。が、すぐにはそのショックで手につくはずもなく、2年が経過しましたが、ようやく、社団法人兵聴協が中心になって、「小松博を想う」(ろう者と手話を愛した男)が、大勢の仲間の寄稿によって出版されました。

神戸で開かれた出版記念会には、県下の三団体を中心に、仲間が80人集まりました。



▲思い出を語る妻の秀子さん。

主催者を代表して本郷善通兵聴協理事長は、

「小松さんは、家族を愛し、隣人を愛し、恩人を愛し、仲間を愛し、出合いを愛した。また、ろうあ者を愛し、手話を愛し、手話通訳者を愛し、兵庫を愛してやまない人だった。そして何よりもろうあ者の誇りを強く持った人だった。私たちは、彼から学んだことを深く胸に刻み、前を向いて歩んでいこう。この追悼集を、これからろうあ運動をになう人たちに伝え、ともにがんばってゆこう」と参加者に熱く語りました。

NHK報道局映像センターのチーフカメラマン大熊健志

さんは、わざわざ東京から駆けつけて、小松さんが亡くなる少し前に、たった3回しか会っていないのに、小松さんが大熊さんの家に泊まったこと、誰でもすぐに仲良くなる人、そして「誰よりも強い印象の残した人だった」と、語りました。

他の参加者も、小松さんの思い出、彼の残した業績、ともにがんばったことを、懐かしく語り合い、これからの事業と運動の継続発展を誓い合いました。

(法人事務局長：朝倉宏)

## 部署紹介⑥ 花木ユニット

今月の部署紹介は、花木ユニットです。9名の職員で対応しています。

花木ユニットには、健聴・難聴・ろう・盲ろうの入所者さんが一緒に暮らしています。みなさんそれぞれにコミュニケーション方法が違いますので、入所者さん同士の繋がり作り、お一人お一人への情報提供を大切にしながら、これからもがんばっていききたいと思えます。

(花木ユニットリーダー：新井)



▲木ユニット玄関前にて。

## リレーエッセイ

監事：立石由紀男

前号のこの欄で、本郷理事が、淡路ふくろうの郷を訪れた際の心境を吐露されておられました。私もまた、ふくろうの周囲の田んぼ風景に接するたび、租税の起源に思いを馳せてしまうのは、税金を扱う職業柄でしょうか。

そもそも、税金は神様への供物が発祥とも言われていますが、具体的に形となったのは「租・庸・調」です。この「租」は年貢を意味し部首は「稻」を表します。つまり米を税金として統治者が取り立てたということにほかなりません。「税」もまた同様の意で用いられます。

さて、租税制度も庶民の抵抗と運動の中で、近代は社会保障制度と結んで「応能負担」と「生活費非課税」が一般則として確立されてきました。ところが小泉政治からこの原則が次々と破壊され、ついには、働くことや生きることに不可欠な支援にすら

利用料を課する障害者自立支援法まで作ってしまう始末で、この点では、以前この欄で、憲法25条の生存権を否定する「応益負担」の撤廃を小林理事が主張されていたと記憶しますが、まったく同感するところです。

今回の総選挙で、国民は「政権交代」を選択したわけですから、新政権では国民の意を受けて、直ちに同法を廃止するほか、最低生活費や生存権に関わる財産に課税しない諸政策を打ち出すべきだと思います。



▲田園風景(ふくろうの郷から)

# 地域を語る

## 第11回

### 二夜三時の大法要

無量山 大照寺

本間 克伯

中川原町内五ヶ寺を  
持ち回る年一度の大切  
な仏事であります。

他宗では「お十夜法  
要」と言つて秋末に修業

されていますが、淡路島  
内真言宗寺院では「五  
日三時法要」と言われて  
います。この法要は、江  
戸時代前期より伝えら  
れている永い伝統ある行  
事で、現在では「二夜三  
時法要」となり三日間に  
渡り一日目午後より二  
座二日目は朝昼晩の三  
座、その間に特別法要・  
神聖霊・先祖代々法要・

等々八座三日目は朝か  
ら三座の法要が厳修さ  
れます。

この法要のおこりは、  
お大師様が、ご自分の師  
僧の師恩に報いる為に京  
都高雄山新護寺に於い  
てこの報恩法要を行なつ  
たのが始まりであると言  
われています。

ではなぜ私達がこの法  
要を修業するのかと言ひ  
ますと、私達が現在ある  
ことを考えますとき御先  
祖を忘れる事は出来ま  
せん。御先祖無くしては  
誰も存在することはあり  
ません。ご先祖様は久遠  
の昔より永劫の未来へか  
けて大慈悲を以つて子孫  
を護つて下さっているの  
です。

「仏説灌頂経」と言う

お経の中に「浄き誠心を  
以つて追善供養の法要  
を営めば、先祖の霊の為  
には回向の力によつて仏  
果を進め、又施主の為に  
は現世利益を得ると共  
に、未来の厳罪生善の要  
因となる」ことを説かれ  
ています。

二夜三時の大法要  
は、お大師様が私達に御  
先祖様の報恩を、お示し  
して下さいました尊い法事  
であり御加護をいただける  
有難い仏事であります。  
御仏の御慈悲により  
穏やかなおだやかな日々  
がおとずれます様祈念  
申し上げます。  
※今年と同寺で十二月五  
七日厳修されます。

## 盲ろう者友の会の みなさんと交流



▲ 交流のひとこま。

10月30日(土)、兵庫盲ろう者友の  
会のみなさんが神戸からお越し下さり、  
普段はあまり作業されない方々も誘つ  
て、牛乳パックを使った織り機での編み  
物を教えてくださいました。みんなが楽し  
める作業でした。

友の会のみなさん、ありがとうございました。

## ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶で淡路ふくろうの  
郷の入所者さんと楽しい時間を  
過ごしませんか。

- ・コーヒー・ココア・紅茶
  - ・カルピスなどなど
- ¥200より

### ◆開催日時◆

・11月22日(日)

13:00~15:00

・12月20日(日)

13:00~15:00

※先月号で11月のふくろう喫茶の日付を誤って表記しておりました。正しくは上記の通りです。

## 第6回ふくろう学習会のお知らせ

立命館大学産業社会学部現代社会学科教授

**石倉康次**先生

### ◆講演内容◆

**高齢者・障害者のこれからの暮らし**

～制度改正による影響、今後の行方～

◆開催日時◆ 11月21日(土) 13:30~